

## 【麻しん風しん予防接種を受けるに当たっての説明】

### 1 予防接種の効果と副反応について

予防接種を受けた方のうち、95%以上が免疫を獲得することができますと言われていています。体内に免疫ができると、麻しんや風しんにかかることを防ぐことができます。

ただし、予防接種により、軽い副反応がみられることがあります。また、極めて稀ですが、重い副反応がおこることがあります。予防接種後にみられる反応としては、下記のとおりです。

#### ○麻しん風しん混合ワクチンの主な副反応

主な副反応として、発熱、発疹、じんましん、紅斑、かゆみなどがみられることがあります。これらの症状は、接種後5日～14日の間に多くみられます。接種直後から翌日に過敏症状と考えられる発熱、発疹、掻痒(かゆみ)などがみられることがありますが、これらの症状は通常1日～3日でおさまります。ときに、接種部位の発赤、腫れ、硬結(しこり)、リンパ節の腫れ等がみられることがあります。いずれも一過性で通常数日中に消失します。

稀に生じる重い副反応としては、アナフィラキシー様症状(ショック症状、呼吸困難など)、急性血小板減少性紫斑病(紫斑、鼻出血、口腔粘膜の出血等)、脳炎及びけいれん等があります。

### 2 接種に当たっての注意事項

予防接種の実施においては、体調の良い日に行うことが原則です。健康状態が良好でない場合には、かかりつけ医等に相談の上、接種するか否か決めてください。

また、以下の状態の場合には予防接種を受けることができません。

- ① 明らかに発熱(通常37.5℃以上をいいます)がある場合
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
- ③ 受けるべき予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある場合
- ④ 明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する場合及び免疫抑制をきたす治療を受けている場合
- ⑤ その他、医師が不適当な状態と判断した場合

### 3 接種後の注意事項

- ① 接種後30分間くらいは、医療機関で体調の変化がないか様子を見てください。  
急な副反応は、この間に起こることがあります。
- ② 接種部分は清潔に保ち、接種後4週間は、健康状態に気をつけてください。
- ③ 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部分はこすらないでください。
- ④ 接種当日は、激しい運動や大量の飲酒は避けてください。

裏面に続きます

#### 4 予防接種による健康被害救済制度について

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要な場合や、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。

ただし、健康被害が予防接種によって引き起こされたものか、別の要因(予防接種をする前あるいは後に紛れ込んだ感染症あるいは別の原因等)によるものなのか、因果関係を予防接種・感染症医療・法律等、各分野の専門家からなる国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合に補償を受けることができます。

予防接種後に気になる症状が発生した場合には、医師またはむつ市役所感染症予防課にご相談ください。

【問い合わせ先】 むつ市役所 感染症予防課 TEL:0175-22-1111